

水道情報活用システム導入支援事業（竜王町）



□ 令和7年より、企業会計システムを導入する。

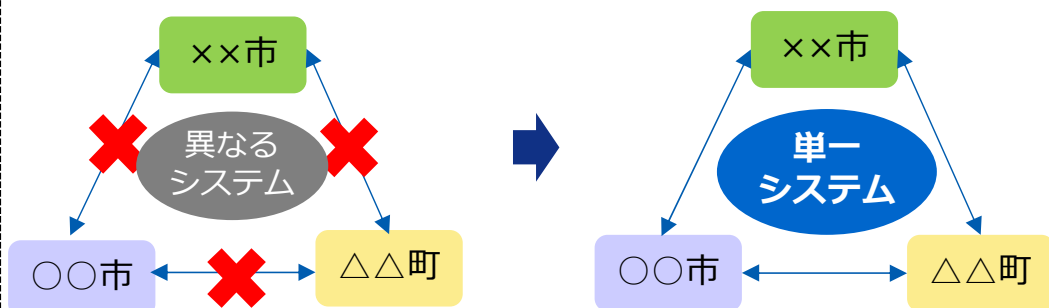
□ 当該事業は県内企業会計システム統合化を目指すものであり、業務効率化やコスト削減、異なる事業者間でのデータの利活用によるDX実現を図る。

事業概要

- 事業期間：令和7年度
- 実施個所：520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
- 事業概要：会計システムの県内システム統合化に向けた業務

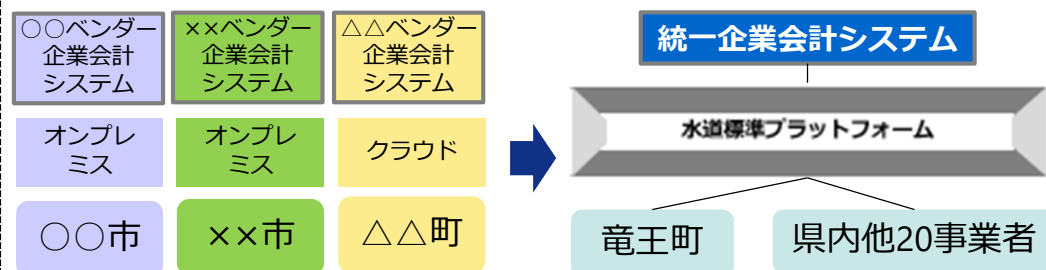
導入により目指す業務効率化

- 県内でばらばらなベンダー、方式で運用されている企業会計システムを統合化することでコスト削減、業務標準化、人的基盤強化などを実現する。



具体的な連携の内容

- 方式や更新時期等が異なり連携が困難なシステムを、水道情報活用システムで県内統一の企業会計システムを実現し、様々な情報連携を行っていく。



データの利活用・付加効果

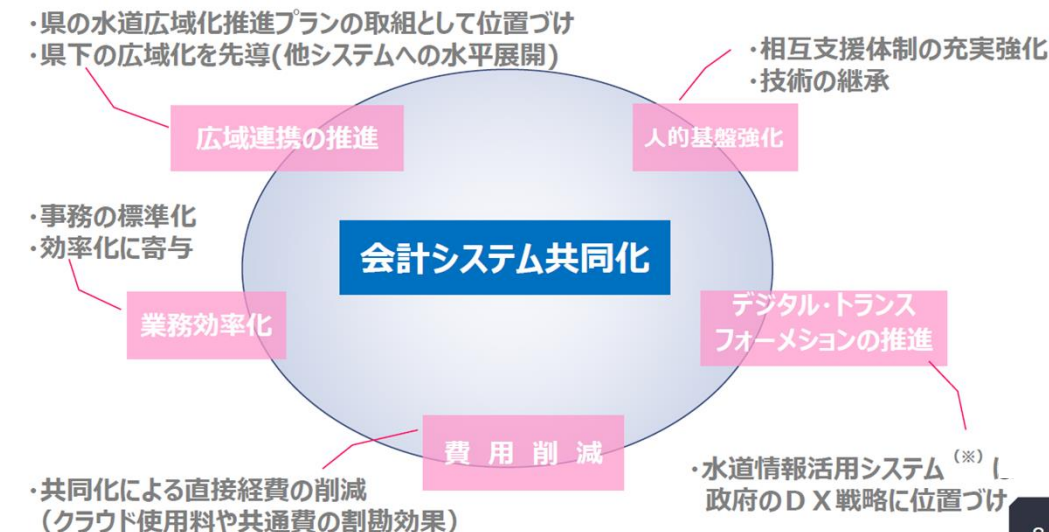
- 水道情報活用システムにより県内会計システムを導入することで、広域連携の推進、業務効率化、費用削減、DXの推進、人的基盤強化など様々な付加価値を生み出すことが可能となる。
- 水道情報活用システムは、下水道分野における標準コードも備えていることから、上下水一体でベンダーロックのない自由競争環境を構築でき、調達コスト減が図られるだけでなく、会計システムのみならず様々な事業に関連するアプリケーションへの横展開も期待でき、上下水道一体でのDXや広域化の発展に貢献することが期待できる。

【基本理念】

- 将来の広域化の素地となること
- 経営基盤の強化

【期待される効果】

- 広域連携の推進、人的基盤強化、費用削減
- 業務効率化、デジタル・トランスフォーメーションの推進



問合せ先

竜王町 上下水道課
TEL:0748-58-3708/ Email:jougesui@town.ryuoh.shiga.jp

水道情報活用システム導入支援事業（竜王町）

参考資料）滋賀県下事業者企業会計システム共同化イメージ

